

人類働態学会 20期 第2回理事会

日時：2008年12月11日（木） 18:00～20:00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席：榎原毅、植竹照雄、片岡洵子、岸田孝弥、酒井一博、竹内由利子、橋本修左、平野和彦、堀野定雄、松田文子、水野有希、

配布資料： 資料1 20期第2回理事会次第 資料4 WEB内容について
資料2 44回大会、夏季研究会 資料5 「働態研究の方法」投稿状況
資料3 会費納入状況

会員動向（下記を含め216名）

<退会>

小磯透、伊藤昭、石田久之、近藤功行

<入会>

中島史朗（広島大学大学院）

●報告

・各担当よりの報告

JHE

・2008年11月22日に編集委員会を開催し、決定事項をHPに掲載した。

東日本・共生シンポ

・共生シンポジウムは11月22日13時～開催し、17時～懇親会を行った。

・東日本地方会は11月23日10時～開催し、一般演題の発表者のうち、30歳未満および学生を対象に、発表奨励賞を6名（優秀発表賞1名、発表奨励賞5名）に授与した。

西日本地方会

・西日本地方会は12月6日11:50～開催した。

・地方会長は、石井勝先生から鳥井正史先生（九州工業大）に交代した。

研究推進

・これまで共生シンポジウムを5回開催したことについて、一旦、内容を総括して報告する、もしくはこのまま継続して行うのか、など検討した。

国際交流

・IEA2009のツアーについては、北京空港（バゲッジ・クレイム）に集合し、会場までの送迎、帰りは空港までの交通手段の確認を引き受けることとした。

・中国人間工学会会長に、人類働態学会としてセッションの企画をお願いしており、日本（堀野理事・小木理事）、韓国（ワンスクリー）、タイ、アメリカなどを予定。

働態研究の方法

・現在、63編集まっており、最終締め切りを2008年12月31日とした。

・本編を別冊会報とするか、または働態学会編として刊行するか、次回の理事会までに検討する。刊行する場合は岸田理事と酒井理事が出版社との交渉を行うこととする。

その他

・自動車技術会から、2009年3月5、6日に開催される大会に協賛依頼の連絡があり、了承した。

●議事

1. 44回大会、夏季研究会

- ・第2回の実行委員会を開催し、シンポジウムとして、「女性の外働きと生活行動」、「近藤四郎先生の7回忌のシンポ」の提案があった。近藤先生のシンポは秋に開催することとした。
- ・大会長講演として「研究活動と生活周辺」というテーマで講演する予定。
- ・シンポジウムでは、一方的にシンポジストが発表するのではなく、大会参加者も加わってのグループワークをすることを企画中。

2. 40周年記念事業

- ・40周年記念シンポは、これまで行った共生シンポジウムをまとめた内容にすることを検討中。

3. Web管理、編集

- ・効率的に情報発信をするため、Web情報で更新されていない、またはリンクされていないページなどを確認し、Web担当がすべてのページのデータを管理する方向で検討している。

4. 財務

- ・退会の意思表示がなくても、会費の請求書は継続的に参加してもらうように、催促する予定。

次回の理事会は、2009年2月19日（木）の18時～20時

以上